

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（

株式会社サイト

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (*【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。相談窓口を設けている。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8								16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。バックオフィスと連携し長時間労働を是正している。							8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			外国人労働者は雇用していないが、CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。				4.4		8.7 8.8	10.2 10.3										
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。			3			8											
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。		3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3											
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			教育の機会は全従業員に向け整備されている。また資格取得の際は補助などもあり、成長できる環境が整っている。		4	5.5		8	9											
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			行動指針、就業規則に明記されていて取り組んでいる。			5.5		8.5	10.2 10.3											
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			健康経営の認証を取得している。		3			8												
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			適切な管理体制のもと保管され、適切に処理されている。													11.6	12		14.1	
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			SBT認証を取得している。2030年に向けて目標持つて取り組んでいる。					7.3									13			
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			SBT認証を取得している。2030年に向けて目標持つて取り組んでいる。				7.2 7.3									12.4	13.3			
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			法令等で規制されている有害化学物質は使用していない。		3.9		6.3									11.6	12.4			

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			適切かつ合法の材料を使用している。									6.6							15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			社内外問わず、分別や再利用促進に取り組んでいる。													13	14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)	【非該当】										6.4 6.6										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)	【非該当】						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)			SBT認証を取得し、毎年の更新時に情報を開示している。													12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			SBT認証を取得し、毎年の更新時に情報を開示している。								7.2					13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			SBT認証を取得し、毎年の更新時に情報を開示している。												12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。															16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。															16			
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。							8.2 8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。															16			
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。															16			
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			CSRのセルフチェックを年1回行っている。また行動指針を作成し、明記されている。					5			8	10	12	13	14	15	16	17			
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)	【非該当】		今後検討していく。			3						8	9	10						17	

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)		安全パトロールを行い、日々の安全推進に取り組んでいる。また安全協力会を組織し社外の業者さんにも安全に対する意識の向上に取り組んでいる。												3.9			12.4			
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)		月に1回全体会議で定期的に事例共有等をしながら技術の向上に努めている。												9						
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		エネルギーコストの計算、効率の良い材料選定などを通して環境配慮型住宅を推進している。									6				12	13	14	15		
32	社会貢献	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		地域の近代産業遺産を取得して、消えゆく地域財産を守り活用している。地域に対してまちづくりを通して貢献することを目標として取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)		基本精神は「まちづくりを通して、地域に貢献する」を合言葉に、地域貢献を大きな一つの指標としている。								4				9	11	12	14	15	17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		毎年ユニセフへの寄付、ライオンズクラブを通して寄付や地域の清掃活動などボランティア活動に取り組んでいる。								4					11		14	15	17	
35	組織体制	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ(任意)		地域にある近代化産業遺産には県外や海外から多くの人が訪れている。地引地商にも一躍買っている。								8	9	11	12	13						
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)		経営理念の共有、行動指針の共有をしている。									8	9							17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本(必須)		就業規則、行動指針に明記し遵守している。																	16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本(必須)		総務部が窓口となっている。																	16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本(必須)		多くの地域接点を設けるようにしている。																	16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ(任意)	【非該当】																			16
41	事業継続	【CSR】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ(任意)		毎年セルフチェックを行い、取り組んでいる。																		16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ(任意)	【非該当】														9	11	13	13.1		16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ(任意)		継続中。												8	9					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
LED化による電気使用量の削減【電気使用量10%削減】		SDG認証を取得後、LCDモニタは昼間を除いて消灯し、2030年に向けて具体的な削減目標を持ちスタートしている 社内削減活動（電気消灯・省エネ活動）は、地元有志団体や信州の慈善事業（サンタラン等）への協賛などを通じて地域活性化と災害への備えを行なっている。今後も取り組みを継続し、退社後の時間を有効に活用していきたい。 また、地域活動へ参加する機会や家族							7				12						
社会または、地域社会への貢献【年間1回以上の貢献活動を実施】		SDG認証を取得後、LCDモニタは昼間を除いて消灯し、2030年に向けて具体的な削減目標を持ちスタートしている 社内削減活動（電気消灯・省エネ活動）は、地元有志団体や信州の慈善事業（サンタラン等）への協賛などを通じて地域活性化と災害への備えを行なっている。今後も取り組みを継続し、退社後の時間を有効に活用していきたい。 また、地域活動へ参加する機会や家族	1	2	3													16	
生き生きと働ける職場の実現【週1回のノー残業デーの実施、健康経営の推進】		SDG認証を取得後、LCDモニタは昼間を除いて消灯し、2030年に向けて具体的な削減目標を持ちスタートしている 社内削減活動（電気消灯・省エネ活動）は、地元有志団体や信州の慈善事業（サンタラン等）への協賛などを通じて地域活性化と災害への備えを行なっている。今後も取り組みを継続し、退社後の時間を有効に活用していきたい。 また、地域活動へ参加する機会や家族										8							

【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- 【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定